



TITLE:

当所の活動

AUTHOR(S):

CITATION:

当所の活動. 木材研究・資料 1989, 25: 102-109

ISSUE DATE:

1989-11-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/51480>

RIGHT:

当 所 の 活 動

(1988年8月～1989年7月)

講 演

第10回セルロース会議 (The 10th Cellulose Conference)

(昭和63年5月, シラキューウス, アメリカ)

Y. SHUTO, K. OKAMURA, J. AZUMA, F. TANAKA and H. CHANZY: A Combined Electron and X-ray Diffraction Study of Cellulose Tripropionate

昭和63年度繊維学会“セルロースに関するシンポジウム”

(昭和63年6月13日～18日, 東京)

首藤勇一郎, 東 順一, 岡村圭造, 田中文男, 杉山 淳司: セルローストリプロピオネートの分子構造と結晶構造

第34回高分子研究発表会 (神戸)

(昭和63年7月8日, 神戸)

首藤勇一郎, 村山雅彦, 東 順一, 岡村圭造, 田中文男, 則元 京: 脂肪酸セルロースエステル同族体のコンホメーション

第3回キチン・キトサンシンポジウム

(昭和63年7月23日～24日, 東京)

小川宏蔵, 田中文男, 岡村圭造: キトサンとポリ〔 α -1,4-D-ガラクトサミン〕の立体配座の相違
日本木材加工技術協会関西支部木材乾燥の基礎セミナー

(昭和63年8月30日, 大阪)

則元 京: 木材乾燥の基礎

第14回国際炭水化物シンポジウム (The Fourteenth International Carbohydrate Symposium)

(昭和63年8月14日～19日,

ストックホルム, スウェーデン)

T. KOSHJIMA: Estimation of binding sites of sugar-lignin moieties in lignin-carbohydrate complex (LCC) polymer

大阪市立自然史博物館第15回特別展「木材のふしぎ」講演会

(昭和63年8月21日, 大阪)

伊東隆夫: 古材にみる木の性質と利用—遺跡出土木材を調べて—

第4回キチン・キトサン国際会議

(昭和63年8月22日～24日,

トリンドハイム, ノルウェー)

K. OGAWA, F. TANAKA and K. OKAMURA: Conformational Difference between Chitosan and Poly-(1→4)- α -D-galactosamine

燃焼制御機構研究会

(昭和63年9月24日, 東京)

石原茂久: 木質材料の難燃化, 1～2の試み

二次資源のバイオテクノロジーに関する国際会議 (International Meeting “Biotechnology of Secondary Resources”)

(63年10月9日～18日,

アルメニア, ソビエト連邦共和国)

T. KOSHJIMA: Microwave treatment and explosive disruption to accelerate enzymatic hydrolysis of wood chips

日本木材学会第18回木材の化学加工研究会

(昭和63年10月6, 7日, 富山)

今村祐嗣: 二重拡散法による無機複合化木材の製造と諸性能

日本しろあり対策協会: 昭和63年度しろあり防除施工士登録更新研修会

(昭和63年10月12日, 名古屋)

高橋旨象: 木造住宅の蟻害及び腐朽材劣化診断・判定と補修方法

中小企業庁, 東京通産局, 静岡県: 技術開発研究費補助事業研究成果普及講習会

(昭和63年10月13日, 静岡)

則元 京: マイクロ波加熱を用いた木材の軟化処理とその応用

日米シンポジウム—木材と木造建築

(昭和63年10月22日, 東京)

佐々木光: 住宅用木質新素材の開発と関連技術 (Development of New-Type Wood Composites for Housing and the Related

Technology)

第33回リグニン討論会

(昭和63年11月8日～9日, 筑波)

渡辺隆司, 吉村直子, 越島哲夫: 凍結粉碎を利用した木材酵素糖化とリグニンの抽出について

棚橋光彦, Myrtha KARINA, 樋口隆昌: 爆砕処理によるリグニンの分解機構解明 (Ⅳ) シナピールアルコール DHP の合成と高圧水蒸気処理
梅澤俊明, 樋口隆昌: 遊離のフェノール性水酸基を持つ DHP のリグニンペルオキシングによる分解

昭和63年度京都大学公開講座「木の文化と科学」

(昭和63年11月12, 19日, 京都)

伊東隆夫: 古代の人々と木のかかわり

佐藤 惺: 京の伝統と木材抽出物

野村隆哉: 生活の中での木の使い方

日本木材学会生物劣化研究会

(昭和63年11月12日, 大阪)

今村祐嗣: 木材の複合化処理と生物劣化抵抗性

第3回国際セルコン会議 (The Third International Cellucon Conference, CELLUCON 88 JAPAN, An International Symposium on New Functionalisation Developments in Cellulosics and Wood)

(昭和63年11月28日～12月1日, 京都)

M. TANAHASHI, M. KARINA and T. HIGUCHI: Degradation Mechanism of Lignin by Steam Explosion II. High Pressure Steam Treatment of Lignin Model Dimers and DHPs

E. MAEKAWA: Consideration of Nitrogen-containing Derivatives Obtained from Dialdehyde Celluloses

Y. SHUTO, K. OKAMURA, J. AZUMA, F. TANAKA and H. CHANZY: X-ray and Electron Diffraction Study of Some Cellulose Derivatives.

兵庫県立丹波年輪の里, 林業試験所, 姫路農林水産事務所: 研修会

(昭和63年12月10日, 姫路)

則元 京: 木材の新しい加工技術

日本木材加工技術協会関西支部: 木材の基礎科学セミナー

(平成元年1月20日, 徳島)

高橋旨象: 木材を長持ちさせるには

則元 京: 木材の物理的性質と乾燥

佐々木光: 木質材料の製造と二次加工

ベルジン普及会: 昭和63年度研修会

(平成元年1月26日, 玉名)

高橋旨象: シロアリのフェロモンと褐色腐朽菌

日本木材加工技術協会: 木材接着講習会

(平成元年1月27日, 大阪)

佐々木光: 建築用パネル及び建築接着

川井秀一: 接着用機械器具

伊東隆夫: 木材の構造

高知県地場産業振興セミナー

(平成元年1月30日, 高知)

今村祐嗣: 木材利用拡大への提言

エネルギー重点領域研究 B領域「多様なエネルギー資源の利用」昭和63年度合同研究成果発表会

(平成元年1月31日～2月1日)

越島哲夫, 真柄謙吾: マイクロ波照射によるリグノセルロース前処理

日本しろあり対策協会: しろあり防除施工士受験資格第1次指定講習会

(平成元年2月2日, 大阪, 同2月9日, 福岡)

高橋旨象: 腐朽に関する知識

第10回木造建築研究フォーラム

(平成元年2月4日, 名古屋)

佐々木光: 基調講演—新しい木質材料の開発

第5回2×4ランバー格付大会講演

(平成元年3月3日, 大阪)

今村祐嗣: 木材処理の細胞構造からの視点

石川県農林水産部: 木材研修会

(平成元年3月9～10日, 石川)

則元 京: 住いと健康

マレイシア農科大学林学部 公開講演

(平成元年3月16日, マレイシア農科大学)

佐藤 惺: 熱帯材の木材化学

第39回日本木材学会大会

(平成1年4月2日～4月4日, 沖縄)

馬場啓一・角谷和男・小川雅広: 形成層帯特異的タ

- ンパク質
- 伴野規博・砂川 匡・浅田隆之・福西伸一・馬場啓一・角谷和男・小川雅広：ポプラカルス分化過程における特異的蛋白質の2次元電気泳動法による同定
- 福西伸一・浅田隆之・馬場啓一・角谷和男・砂川匡・小川雅広：ポプラカルス分化過程における特異的タンパク質の免疫化学的解析
- 浅田隆之・福西伸一・馬場啓一・角谷和男・砂川匡・小川雅広：ポプラカルス分化過程における特異的蛋白質の放射生化学的手法を用いた動的解析
- 砂川 匡・浅田隆之・馬場啓一・福西伸一・角谷和男・小川雅広：ポプラカルス分化特異的タンパク質の精製と分化過程における変化の解析
- 黒田宏之：エンジュレクチン遺伝子の c-DNA ライブラリ構築
- 伊東隆夫：モウソウチクの細胞生長における微小管の配向
- 藤田 晃・伊東隆夫：ポプラ培養細胞の形状と微小管の配向
- 真柄謙吾・越島哲夫：細孔増加からみたマイクロ波前処理の優位性
- 渡辺隆司・大西二郎・越島哲夫：リグニン糖結合体中のリグニン—グルクロン酸残基間エステル結合の新規証明法
- 前川英一・今村祐嗣・越島哲夫：前処理木粉及びセルロース試料の酵素糖化残渣の形態観察
- 吉岡 伸・渡辺隆司・越島哲夫：Aserigillus niger 由来の β -グルコシダーゼについて
- 藤島 静・夜久富美子・越島哲夫：木材糖化における酵素の回収再利用 (IV) —ヘミセルロース分解酵素の挙動
- 島田幹夫・中川麻理子・樋口隆昌：リグニン分解へのバイオミメティックアプローチ：マンガン (IV) 活性種を用いる新規リグニナーゼモデル触媒系の開発
- 中川麻理子・島田幹夫・服部武文・樋口隆昌：新規バイオミメティックマンガン触媒系を用いる β -O-4 リグニン二量体モデル基質
- 島田幹夫・樋口隆昌：バイオミメティックマンガン触媒系を応用した新しい無塩素パルプ漂白に関する研究の $C\alpha$ - $C\beta$ の開裂反応
- 横田信三・梅澤俊明・樋口隆昌：リグニンペルオキシダーゼによるフェノール性 β -O-4 型リグニンサブストラクチャーモデル二量体の分解
- 服部武文・島田幹夫・樋口隆昌：フェノール性及び非フェノール性リグニンビフェニール型モデル化合物のリグニンペルオキシダーゼによる酸化分解
- 河合真吾・庄司真一・鍋田憲助・奥山 寛・樋口隆昌：カワラタケリグニンペルオキシダーゼによる非フェノール性 β -O-4 型リグニンモデル化合物の分解
- Joseph GRIL: On the Viscoelastic Anisotropy of the Wood Cell Wall
- Joseph GRIL: Hygro-Mechanical Threshold and Memory Effect in Wood
- 西野吉彦・山田 正：木材の力学的性質における樹種間変動
- 則元 京・Joseph GRIL・R.M. ROWELL：化学修飾木材の粘弾性
- 趙 広傑・則元 京・師岡淳郎・山田 正：木材に吸着した水の誘電挙動 (II)
- 森岡茂勝・野村隆哉・山田 正・林 昭三：スギ枝条部におけるあての発現機構に関する研究—各枝条部でのあて分布—
- 野村隆哉・師岡淳郎・山田 正：DMSO—パラホルムアルデヒドによる非晶化木材の物性 (I) —結晶構造変化について—
- 野村隆哉・山田 正・中野隆人：エステル化木材の微細構造変化について (II)
- 飯田生穂・浦上弘幸・野村隆哉・森岡茂勝：樹種による染色性の相違について
- 井上雅文・則元 京・山田 正：木材の表面加工 (II) 表面圧密層の固定に及ぼす圧縮温度の影響
- 師岡淳郎・則元 京・山田 正：均一過ヨウ素酸酸化によって得られるセルロース誘導体の物性 (III)
- 野村隆哉・飯田生穂：生立体染色法による未利用樹の有効利用—大径木の染色について—
- 野村隆哉・森岡茂勝・飯田生穂：生立木染色法によ

る未利用樹の有効利用—木材加工技術教育および美術教員教材への応用—

野村隆哉・森岡茂勝・飯田生穂：生立体染色法による未利用樹の有効利用—湿度調節機能を持つ面材としての応用—

佐々木光・バンバン・スビヤント・澤田 豊・川井秀一：スチーム噴射式連続 プレスの開発研究 (I) プレスの設計とマット内の温度変化

畑 俊充・Bambang SUDIYANTO・川井秀一・佐々木光：スチーム噴射式連続 プレスの開発研究 (II) コンピューターシミュレーションによる噴射条件の検討

Bambang SUDIYANTO・川井秀一・佐々木光：スチーム噴射式連続 プレスの開発研究 (III) 厚物低比重パーティクルボードの材質

吉田弥寿郎・オーランド・ブリドー・川井秀一・佐々木光：下部電極システムによる配向性ボードの製造—配向度を高めるための技術改良—

瀧野眞二郎・オーランド・ブリドー・川井秀一：配向性低比重パーティクルボードの水分非定常におけるクリープ性能

楊 萍・佐々木光・秦 正徳：木質パーティクルボードの曲面成型 (II) グズミ要素法によるコンピュータシミュレーション

王 潜・川井秀一・佐々木光・Razali ABDULKADER：サバ産植林木 LVL の性質と複合はりフランジとして利用 (I)

川井秀一・吉田弥寿郎・石原茂久・井出 勇・高松淳久：炭素材料積層パーティクルボード，V グラファイト系フェイス材料の混合比が複合ボードの各種性能に及ぼす影響

石原茂久・吉田弥寿郎・川井秀一・高松淳久・井出 勇・吉田 綏：炭素材料積層パーティクルボード，VI 積層材に用いるグラファイトの耐火性能

吉田弥寿郎・川井秀一・石原茂久・高松淳久・吉田 綏：炭素材料積層パーティクルボード，VII 壁体の遮音及び耐火性能

澤田 豊・川井秀一・佐々木光：竹を原料とする木質ボードの開発 (II) 竹材積層ボードの破壊条件

石原茂久：長期屋外暴露された難燃処理合板設耐火性能と物性の経緯

所 雅彦・高橋旨象・山岡亮平：イエシロアリ道しるベフェロモンの化学構造決定と生合成系

所 雅彦・今村祐嗣・高橋旨象・西本哲也：シロアリに対する木材のアセチル化処理の効果 (2) 性能発現機構の考察

今村祐嗣・高橋旨象・佐藤隆史：フェノール樹脂処理木材の生物劣化抵抗性—処理の程度と性能の発現—

角田邦夫・高橋旨象：無機質複合化による新機能性木材の開発 (4) —生物劣化抵抗性—

角田邦夫・今村祐嗣・角田邦夫・足立昭夫・西本孝一：野外試験による木材保存剤の効力評価

李 東治・角田邦夫・高橋旨象：木材腐朽菌による有機ヨウ素系木材保存剤の分解

藤井義久・野口昌巳・今村祐嗣・所 雅彦：AE によるシロアリ食害材検出の試み—木材食害時の AE 発生挙動—

23rd International Particleboard/Composite Materials Symposium

(平成元年4月4日～6日，プルマン，米国)

S. KAWAI and H. SASAKI: The Challenge of Lowering the Density of Particleboard

日本植物生理学会1989年度年会

(平成元年4月5日～7日，名博屋)

馬場啓一，小川雅広，角谷和男：樹幹形成層帯に存在する組織特異的タンパク質

浅田隆之，福西伸一，砂川 匡，小川雅広，角谷和男：ポプラ培養細胞の再分化に関わる特異的蛋白質

日本木材学会総会・シンポジウム

(平成元年5月13日，東京)

石原茂久：木造住宅及びその部材の防・耐火 (日本木材学会研究分科会第二研究部会報告)

第4回紙パルプ工業におけるバイオテクノロジー国際会議 (Fourth International Conference Biotechnology in the Pulp and Paper Industry)

(平成元年5月16日～19日，ノースカロライナ)

T. UMEZAWA and T. HIGUCHI: Degradation

Mechanism of Lignin Polymer by White-Rot Fungi.

S. KAWAI, T. HIGUCHI, K. NABETA and H. OKUYAMA: Degradation Mechanisms of Phenolic β -O-4 Lignin Substructure Model Compounds by Laccase of *Coriolus versicolor*.

第44回京都大学木材研究所公開講演

(平成元年5月19日, 大阪)

山田 正: 発育発達と木質環境

林 昭三: 藤ノ木古墳・正倉院・桂離宮—古い木材と樹種の識別—

角田邦夫: 木材保存技術と材料開発

木材, 一年生植物の近代的分析法と漂白剤の流出に関するプレシンポジウム (Presymposium Workshop "Modern Methods of Analysis of Wood, annual Plants and Bleach Effluents")

(平成元年5月19日~20日,

サウスカロライナ, アメリカ)

T. KOSHJIMA and T. WATANABE: Analytical differences of wood-LCCs prepared at different milling temperatures

第16回日本防菌防黴学会年次大会

(平成元年5月22, 23日, 大阪)

今村祐嗣, 野橋健三: WPC (木材—プラスチック複合体) の生物劣化と抵抗性向上の試み

第15回木材とパルプ化学に関する国際会議 (The Fifth International Symposium on Wood and Pulping Chemistry)

(平成元年5月22日~25日,

ラーレイ, アメリカ)

T. KOSHJIMA, T. WATANABE and J. ONISHI: Formation of lignin-carbohydrate complex polymer and connection points among sugar chains and lignin macromolecules

第20回木材保存に関する国際研究グループ年次大会

(平成元年5月22日~26日,

ラッペーンランタ, フィンランド)

M. TAKAHASHI, Y. IMAMURA and M. TANAHASHI:

Effect of Acetylation on Decay Resistance of Wood against Brown-Rot, White-Rot and Soft-Rot Fungi

第14回工業技術研究大会

(平成元年6月6日, 刈谷)

佐々木光: 木材資源の特性と木質系材料開発の展望

日本木材加工技術協会中部支部総会・講演会

(平成元年6月9日, 名古屋)

石原茂久: 木造建築物及びその部材の防・耐火と材料開発

日本木材加工技術協会関西支部総会・講演会

(平成元年6月16日, 大阪)

越島哲夫: 木を科学する

日本木材加工技術協会中国支部: 地場産業における木材機能化新技術講演会

(平成元年6月20日, 松江)

佐々木光: 木質新素材開発における現状と将来

材料学科第70回材料セミナー: 木質材料と紙—その資源・原料特性と材料性能の未来性

(平成元年6月21日, 大阪)

佐々木光: 木質資源の特性と木質材料

住宅気候談話会

(平成元年6月24日, 京都)

則元 京: 木材内装住宅における湿度調節

平成元年繊維学会年次大会研究発表会

(平成元年6月27日~29日, 東京)

児嶋佳世子・石原茂久: 等速電気泳動法によるCCA系防腐剤の分析

エネルギー重点領域研究 第2回講演会

(平成元年7月12日, 東京)

越島哲夫: マイクロ波を用いるリグノセルロースの酵素糖化とアルコール生産

第11回植物組織培養学会大会

(平成元年7月18日~20日, 岡山)

坂本ますみ, 浅田隆之, 馬場啓一, 角谷和男, 葛西善三郎: 針葉樹苗木先端部の培養過程における器官分化の組織学的研究

人事往来 その他

田中文男：「木材多糖のコンホメーション解析に関する研究調査」（昭和62年9月1日～昭和63年12月31日）アメリカ

Dr. Bogdan C. SIMIONESCU（ルーマニア・ジャスィー工科大学高分子化学科講師）（昭和63年8月3～22日）見学およびリグニン化学について討議・セミナーを行うため来所

Prof. Robert A. BLANCHETTE（アメリカ・ミネソタ大学教授）（昭和63年8月23日）リグニンの微生物分野について討議のため来所

Dr. Terry L. HIGHLEY（アメリカ林産物研究所）（昭和63年8月23日）リグニンの微生物分野および爆砕について討議のため来所

Dr. Frederick GREEN III（米国農業省林産試験場）（昭和63年8月23日）リグニンの微生物分野および爆砕について討議のため来所

今村祐嗣：高耐久性木材開発部門助教授に昇任（昭和63年9月1日）

Mr. K. Daljeet SINGH（マレーシア林業試験場林産部上級研究官）（昭和63年9月1日）見学および高耐久性木材の研究、爆砕について討議のため来所

Dr. Abdul Razak B. MOHD ALI（マレーシア林業試験場化学部部長）（昭和63年9月22日）化学系部門を中心に見学のため来所

山田 正：「木材物理学に関する研究調査」（昭和63年10月5日～25日）中華人民共和国

越島哲夫：「二次資源利用のバイオテクノロジー国際会議出席及び研究調査」（昭和63年10月8日～19日）ソビエト連邦共和国

張 斉 生氏（中国南京林業大学科学研究所所長）（昭和63年10月4日～12月25日）「竹材の接着と性能加工に関する研究」のため来所

Prof. Anders GRÖNLUND, Dr. Ake LJEBLAD（スウェーデン・ルレオ大学木材工学科教授）（昭和63年10月18日）見学および木材物理・木質材料・リグニン化学・高耐久性木材開発の分野の研究について討議のため来所

Jusoh Mohd ZIN（マレーシア農科大学助教授）（昭和63年11月1日～30日）「マレーシア産クルイ

ン及びオイルパームの材質解明に関する研究」のため来所

今村祐嗣・師岡淳郎：「木材及び林地残廃材の材質解明と有効利用」（昭和63年12月2日～16日）インドネシア

Dr. J.A. KININMONTH（ニュージーランド国立林業研究所）（昭和63年11月22日）研究調査および研究設備の見学のため来所

Prof. Anton BLAZEJ（チェコスロバキア・スロバツク工科大学）（昭和63年12月2日）見学およびリグニンの基礎・応用研究について討議のため来所

Prof. Wolfgang GLASSER（アメリカ・バージニア工業試験場・州立大学林産学科）（昭和63年12月2日）見学およびリグニンの基礎・応用研究について討議のため来所

Prof. R.H. ATALLA（アメリカ・紙・パルプ化学研究所）（昭和63年12月2日）見学およびリグニンの基礎・応用研究について討議のため来所

Dr. Annele HATAKKA（フィンランド・ヘルシンキ大学微生物学科）（昭和63年12月2日）見学およびリグニンの基礎・応用研究について討議のため来所

Dr. Kristiina POPPIUS（フィンランド・紙・パルプ研究所）（昭和63年12月2日）見学およびリグニンの基礎・応用研究について討議のため来所

国際協力事業団中国黒竜江省木材総合利用研究プロジェクトによる研修員（昭和63年12月6日）施設見学のため来所

Dr. Wiwik Sringatin SUBOWO（LIPI 応用物理研究開発センター研究員）（昭和63年1月9日～2月7日）「CMC -Na 塩の置換度及び置換基分布の決定における NMR 法の適用についての研究」のため来所

Mrs. Sri Pujiastuti DOJOSUTARNO（LIPI 応用物理研究開発センター初級研究員）（昭和63年1月9日～4月8日）「セルローズアセテートの分析とその特性についての研究」のため来所

趙 南 奭氏（韓国・嶺南大学校農畜産大学林学科）（平成元年1月27日）見学およびリグニンの微

生物分解、爆砕について質疑応答のため来所
Mr. Nurbana Achya LATIEF (Agency for the Assessment and Application of Technology Indonesia) (平成元年2月14日) 研究交流促進調査のため日本インドネシア科学技術フォーラム島山茂登男氏と共に来所

Dr. Salleh B. Mohd. NOR. (マレーシア林業試験場所長) (平成元年2月17日) 将来の研究者養成に対する打診を兼ねて当研究所の研究活動、特にリグニン化学部門、木材化学部門の研究状況について視察・懇談のため来所

角田邦夫:「新しい木材保存薬剤の研究に関する調査及び資料収集」(平成元年3月1日～14日) オーストラリア、ニュージーランド

王 体 科氏 (中国・北京林業大学森林業系副教授) (平成元年3月6日) 見学および高耐久性木材開発部門においてゴム材の防バイを中心に討議のため来所

九州芸術工科大学教授他1名 (平成元年3月7日) 施設見学のため来所

王 伝 槐氏 (中国・南京林業大学教授) (平成元年3月8日) 木材およびリグニンの腐朽・防腐機構、爆砕などについて見学・討議のため来所

佐藤 惺:「マレーシア材並びに廃材の特徴づけと効率の利用に関する研究打合せ及び資料調査」(平成元年3月8日～21日) マレーシア

栃木県工業技術センター次長他2名 (平成元年3月9日) 施設見学のため来所

吉野町林業研究グループ連絡協議会会長他40名 (平成元年3月20日) 施設見学のため来所

謝 益 民氏 (中国・西北軽工業学院) (平成元年3月10日) 見学および木材の化学・生化学について研修のため来所

Dr. S.Y. NAN (アメリカ合衆国・フロリダ大学準教授) (平成元年3月13日) シロアリの生理活性ハ質研究についての討議のため来所

Dr. Gerard FLEURY (フランス建築科学技術センター軽量外装熱湿気伝導研究部部長), Dr. Dominique BEGUIN (同研究員), Dr. Thierry DUFORESTEL (同研究員) (平成元年3月19日), 低比重パーティクルボードに関する討議、及び

研究施設見学のため来所

川井秀一:「木質及び木質系複合材料の開発に関する研究調査」(平成元年3月22日～6月19日) アメリカ合衆国、カナダ、連合王国、フランス、スイス、ドイツ連邦共和国、スウェーデン、フィンランド

Prof. Eric E. CONN (アメリカ・カリフォルニア大学デービス校生化学・生物物理学教室教授) (平成元年4月11日) リグニンの生化学について討議のため来所

大阪南青会グループ40名 (平成元年4月22日) 施設見学のため来所

Mr. Soehartono SOEDARGO (インドネシア科学技術協力国際協力課長) (平成元年4月24日) 施設見学のため来所

Dr. Robert TEASEDATE (オーストラリア国ボンド大学教授) (平成元年4月27日～28日) 施設見学のため来所

金 亮 孝氏他2名 (韓国・製紙研究所器興分室) (平成元年4月25日) リグニンの微生物分解の紙パルプへの応用について討議のため来所

Mr. Nursjamsu Bahar T. (インドネシアセルロース研究所) (平成元年5月8日) リグニン化学の研究と論文博士についての相談のため来所

梅澤俊明:「林産系天然有機化合物の化学的研究」(平成元年5月10日～2年5月9日) アメリカ合衆国

樋口隆昌:「第4回パルプ紙工業におけるバイオテクノロジー国際会議及び第5回国際木材・パルピング化学シンポジウム出席」(平成元年5月15日～27日) アメリカ合衆国

越島哲夫:「第5回木材化学・パルプ化学国際シンポジウム及び木材・一年生草木・漂白工場廃液に関する最近の分析シンポジウム出席」(平成元年5月18日～26日) アメリカ合衆国

高橋旨象:「第20回国際木材保存会議出席並びに新規木材保存薬剤の開発に関する資料収集」(平成元年5月18日～30日) 連合王国、フィンランド国、ドイツ連邦共和国

沈 謹氏他2名 (韓国林業研究院) (平成元年6月2日) 施設見学のため来所

Prof. Josef BAUCH (ハンプブルグ大学木材生物学教授) (平成元年6月8日) 施設見学のため来所

Dr. W. Ernest Hsu (Research Scientist of Forintek Canada Corp.) (平成元年6月5日) 「木質ボードの製造と性質に関する研究調査」のため来所

Prof. Borje STEENBERG (スウェーデン・マークス・ワレンブルグ財団理事, 王立工学研究所名誉教授) (平成元年6月19日) マークス・ワレンブルグ賞の歴史的背景と現在についての説明と, セルロースのコンフォメーションなどについての論議のため来所

Dr. Rakesh MINOCHA (米国農務省東北林業試験

場) (平成元年6月20日) 木材生物部門とリグニン化学部門の見学および樹木生化学について討議のため来所

Mrs. B.R. Barbara HISLOP (Board of Director, Canfor Corp.), Dr. Suezone CHOW (Director of Research and Development, Canfor Corp.) (平成元年6月26日) 「木質材料に関する研究室資料調査と討議」のため来所

Professor Roy F. PELLERIN (Structural Engineering Section, Civil and Environmental Engineering, Washington State University) (平成元年7月17日) 「木質材料の製造と性質に関する研究討議」のため来所